

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考	
							二次評価結果 評価結果		
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	株式会社上信観光バス	前橋駅～京目～高崎駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。 ICカード導入や感染防止対策を計画して、国や県の補助金申請をして内示を頂き、実行する準備をしている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):95,551人	各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を行う。 また、前橋駅～高崎駅線統合によって、輸送人員が増加したので乗降調査を参考にして、ダイヤ改正を実施したいと考える。 国や県の補助金を利用した感染症拡大防止対策のための設備導入や交通系ICカードを導入したので、コロナ禍における感染防止対策を継続して行う。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤ編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。		
					輸送人員(実績):131,294人				前橋駅～高崎駅線統合によって輸送人員が増加した。
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	関越交通株式会社	高崎駅～イオンモール高崎前～群馬温泉～渋川駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・高崎市・吉岡町・渋川市の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和5年3月実施) ・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。 ・ICカードのODデータによる運行ダイヤの見直し検討を行ったが、実施には至っていない。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):185,217人	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・金額式IC定期券は当該路線の定期券販売の約5割を占めており、路線の多い市街地でのメリットを理解して利用されている模様。また、スマホ定期券については、学生・保護者に概ね好評であり、区間式の紙定期券の代替として通学定期券を中心に拡大していく傾向が見られる。今後は両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤ編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。		
					輸送人員(実績):195,647人				目標を達成した。
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	関越交通株式会社	高崎駅～イオンモール高崎前～群馬温泉の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・高崎市・吉岡町・渋川市の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和5年3月実施) ・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。 ・ICカードのODデータによる運行ダイヤの見直し検討を行ったが、実施には至っていない。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):100,910人	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・金額式IC定期券は当該路線の定期券販売の約5割を占めており、路線の多い市街地でのメリットを理解して利用されている模様。また、スマホ定期券については、学生・保護者に概ね好評であり、区間式の紙定期券の代替として通学定期券を中心に拡大していく傾向が見られる。今後は両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤ編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。		
					輸送人員(実績):117,012人				目標を達成した。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	関越交通株式会社	けやきウーク前橋～前橋駅・中央前橋駅～富士見温泉の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・前橋市北代田町・上細井町・下細井町・富士見町時沢・富士見町小暮・富士見町皆沢地区に時刻表を新聞折り込み、沿線世帯へ配布。(令和5年3月実施) ・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。 ・ICカードのODデータによる運行ダイヤの見直し検討を行ったが、実施には至っていない。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 116,936人 輸送人員(実績): 87,404人 地元利用者数が伸び悩み、収入・人員共に目標達成には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・金額式IC定期券は当該路線の定期券販売の約5割を占めており、路線の多い前橋市中心地でのメリットを理解して利用されている模様。今後もスマホ定期券などキャッシュレスサービスを推進していく。 		
	関越交通株式会社	沼田駅～関越自動車道～群大病院の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田市・みなかみ町・片品村の協力で広報に時刻表(猿ヶ京線・鎌田線共用)を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和5年3月～4月実施) ・時刻表のチラシを作成し、沼田市内2か所の教習所に設置した。但し、群大病院内売店は、感染症予防の観点から設置を見送った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 19,009人 輸送人員(実績): 11,914人 収入は若干減少となったが、輸送人員については目標を達成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・定期券や往復券のモバイルチケット化等、スマートフォンを利用した乗車券システムの導入を検討する。 ・自家用車とのアドバンテージを模索し、チラシ、HP、SNS等を活用してアピールして利用者を促進していく。 		
	関越交通株式会社	沼田保健福祉センター前～沼田駅・後閑駅・上毛高原駅・たぐみの里～猿ヶ京の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田市・みなかみ町の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和5年3月実施) ・IC乗車券・スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。(スマホ定期券は令和5年4月より実施) ・ICカードのODデータによる見直しは引き続き利用状況を見ながら検討していく。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 85,437人 輸送人員(実績): 68,101人 収入・人員ともに減となり目標達成には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく。 		
	関越交通株式会社	沼田駅～老神温泉・鎌田～尾瀬戸倉の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田市・片品村の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布(令和5年4月実施) ・IC乗車券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。スマホ定期券はチラシおよび車内ポスターにてPRを行った。(スマホ定期券は令和5年4月より実施) ・客貨混載については増収傾向にある。 ・ICカードのODデータによる見直しは利用状況を見ながら検討していく。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 62,392人 輸送人員(実績): 60,947人 運送収入は若干増となったが、輸送人員については目標を達成することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・観光客に対してのIC乗車券の利用可能アピール、また定期券については、遠方から営業所に購入を求めてく方が多いため、来店不要のスマホ定期券を推進していく。 ・客貨混載事業に関しては引き続き継続する。 		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考	
							評価結果		
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	関越交通株式会社	沼田駅～鎌田の運行	<ul style="list-style-type: none"> 沼田市・片品村の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布(令和5年4月実施) IC乗車券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。スマホ定期券はチラシおよび車内ポスターにてPRを行った。(スマホ定期券は令和5年4月より実施) 客貨混載については増収傾向にある。 ICカードのODデータによる見直しは引き続き利用状況を見ながら検討していく。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 44,014人 輸送人員(実績): 23,555人 運送収入は若干増となったが、輸送人員については目標を達成することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 観光客に対してのIC乗車券の利用可能アピール、また定期券については、遠方から営業所に購入を求めてくる方が多いため、来店不要のスマホ定期券を推進していく。 客貨混載事業に関しては引き続き継続する。 		
	株式会社群馬バス	高崎駅～里見～室田営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	<ul style="list-style-type: none"> 高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。 利用者アンケートは新型コロナウイルスの変異株の影響により実施は見送った。また、ICカード導入が完了し好評を得ている。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 102,609人 輸送人員(実績): 71,894人 新型コロナウイルス感染症の影響により運転者不足が顕著になり安全運行を確保するためやむを得ず減便をしたため目標に達しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤ編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。 	
	株式会社群馬バス	高崎駅～本郷～榛名湖の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	<ul style="list-style-type: none"> 高崎市住民に時刻表の配布をおこなうとともに、各自治体の公共施設や高崎経済大学等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続、フリーバスを販売し利用客の利便性を図った。また、ICカード導入が完了し、通勤通学、観光客の利便性向上につながった。 	A	冬季は積雪による路面凍結のため運行できない区間があったが、事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 101,478人 輸送人員(実績): 102,516人 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され行動制限がなくなったため目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 		
	株式会社群馬バス	高崎駅～上郊～榛東村役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	<ul style="list-style-type: none"> 高崎市・榛東村住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、沿線施設である相馬原自衛隊の隊員の利用も好調である。また、ICカード導入が完了し通勤通学、帰省への利便性向上につながった。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 32,621人 輸送人員(実績): 44,443人 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され行動制限がなくなったため目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引続き、沿線住民は勿論のこと、相馬原自衛隊の若い隊員向けに継続的に時刻表を配布する。同時にIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。 		
	株式会社群馬バス	高崎駅～水沢～伊香保案内所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	<ul style="list-style-type: none"> 高崎市住民に時刻表の配布をおこない利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続するフリーバスを販売し利用客の利便性を図った。また、ICカード導入が完了し利便性向上につながった。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 53,968人 輸送人員(実績): 74,038人 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され行動制限がなくなったため目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引続き、高崎駅から伊香保間を乗換無しで行けることをアピールしていきたい。同時にICカード導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考
							二次評価結果	
							評価結果	
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	株式会社群馬バス	高崎駅～農大二高・吉井物産センター～南陽台の運行	引続き、南陽台から旧吉井町へ運行する自家用有償(よしいバス)と乗り継ぎ割引を引続き実施し、利便性の確保を行っている。また、2つの高齢化している住宅団地の住民の買い物の足として重要な役割を現在も果たしている。また、ICカード導入に向けて準備を実施。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):68,584人 輸送人員(実績):65,662人 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され行動制限がなくなったため目標の輸送人員に近づいた。	当系統は南陽台・城山団地という70～80年代頃に開発された丘陵地帯上にある住宅団地と高崎市街地を結んでいる。高齢者の買い物の足としての役割が強い。引続き高崎市と協力してアピールしていきたい。またIC機器を導入していることで、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～里見・室田～権田の運行	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):91,896人 輸送人員(実績):57,155人 輸送人員は、今年度の学生通学の微減の影響により、目標に達しなかった。引続き通学利用促進に力を入れる。	引続き、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。IC機器を導入していることで、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～本郷～室田営業所の運行	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):118,875人 輸送人員(実績):117,423人 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され行動制限がなくなったため目標の輸送人員に近づいた。	引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入していることで、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～浜川～箕郷営業所の運行	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):156,408人 輸送人員(実績):113,587人 新型コロナウイルス感染症の影響により運転者不足が顕著になり安全運行を確保するためやむを得ず減便をしたため目標に達しなかった。	引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入していることで、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。		
	群馬中央バス株式会社	前橋駅～芝塚～高崎駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・ICカードの利用促進に関するPRを随時実施した。 ・児童生徒及び高齢者に対するバスの乗り方教室を積極的に実施した。 ・オープンデータを自社整備して分かりやすい路線情報を提供した。 ・バスロケーションシステムの継続により随時運行状況の配信を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):92,134人 1%の収支改善目標として年間1,900人増を目標 輸送人員(実績):118,499人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。	・ICカードの利用拡大に向けて路線沿線施設にPRを行う。 ・バス車両のウイルス感染症防止対策について、安全性をPRしていく。 ・オープンデータの自社整備及び情報発信を行う(継続)。 ・路線沿線施設に時刻表等の資料を配布する。(コロナ禍以降再開)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤ編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	群馬中央バス株式会社	高崎駅～上滝・玉村～県立女子大学の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカードの利用促進に関するPRを随時実施した。 ・児童生徒及び高齢者に対するバス乗り方教室を積極的に実施した。 ・オープンデータの自社整備して分かりやすい路線情報を提供した。 ・県立女子大学と打合せして、授業及び各種試験、オープンキャンパス等に合わせた運行を実施した。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカードの利用拡大に向けて路線沿線施設にPRを行う。 ・バス車両のコロナウイルス感染症防止対策について、安全性をPRしていく。 ・オープンデータの自社整備及び情報発信を行う(継続)。 ・路線沿線施設に時刻表等の資料を配布する。(コロナ禍以降再開) ・県立女子大学と協議し、学生の利用しやすい時間帯等の変更を随時行う。 		
	永井運輸株式会社	前橋公園～前橋駅～玉村町役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	<ul style="list-style-type: none"> 列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。 下川淵公民館及びベイシアみなみモールへ配布時刻表を各50枚用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 引き続き「前橋工科大21回数券」を作成し発売を行った。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの継続実施。 旅客への情報提供として前橋工科大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。 旧Twitterでの運行情報送信を継続実施。 地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実に成り、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタルイゼーションが確立できた。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> 駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 引き続き、「前橋工科大21回数券」を作成し、大学生のバス利用が減少する時期の利用促進を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施や旧Twitterなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 地域連携ICカード「nolbé」導入で、乗降データの可視化やデータ活用を行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤ編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。 	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会	永井運輸株式会社	玉村町役場～県立女子大学～新町駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。 玉村町役場へ配布時刻表を50枚用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの継続実施。 旅客への情報提供として県立女子大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。 群馬県バス協会主催の「バスの乗り方教室」を玉村南小学校他2箇所で開催した。バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。 旧Twitterでの運行情報送信を継続実施。 地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実になり、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A	輸送人員(目標):38,000人	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施や旧Twitterなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 地域連携ICカード「nolbé」導入で、乗降データの可視化やデータ活用を行いたい。	
						輸送人員(実績):44,218人		
						輸送人員は上記の通りであり目標を達成した。		
日本中央バス株式会社	前橋駅～田島十字路～富士見公民館の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初より、富士見温泉・富士見公民館への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A	輸送人員(目標):41,963人	ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 また、富士見地区のデマンドバスとの組み合わせを見据えた運行についての最適化について検討を図る。 引き続き、利用者の増加に向けたに向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市と共に検討を行い、実行可能なものから実行する。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携しダイヤや編成などの利便性向上策を実施することを期待したい。	
					輸送人員(実績):68,340人			
					新型コロナウイルスの影響緩和により、予想以上に外出機会等の増加があり、利用者が目標よりも増加した。			
日本中央バス株式会社	前橋駅～前橋西高校～八幡橋の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初よりしんとう温泉・榛東村役場への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 令和4年3月よりICカード導入し利便性向上を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A	輸送人員(目標):49,338人	前橋都心部において、独占禁止法上の例外措置による共同経営を行い利便性の向上を図ったので、利用者への周知を図ってゆく。また、ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 引き続き、利用者の増加に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市・榛東村と検討を行い、実行可能なものから実行する。		
					輸送人員(実績):86,301人			
					新型コロナウイルスの影響緩和により、予想以上に外出機会等の増加があり、利用者が目標よりも増加した。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県地域公共交通活性化協議会	朝日自動車株式会社	[起点] 本庄駅南口 [主な経由地] 小島南・沖電気前 [終点] 神泉総合支所	①令和4年9月～10月と令和5年3月～4月の共通学生フリーバス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②神泉総合支所移設に伴い、令和5年4月より路線を延伸した。 ③沿線施設との企画乗車券導入に向けての検討は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し見送った。	B 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が計画に位置づけられたとおり実施することができなかった。	B 輸送人員目標181,819人に対して実績は154,650人となり目標未達成となった。未達成理由として、新型コロナウイルス感染症により減少していた利用者が回復基調であるが、完全には戻り切っていないと考えられる。	・引き続き共通学生フリーバスの販売促進を図る。 ・路線延伸を継続し、接続する町営バスとのシナジー効果を狙う。 ・沿線施設との企画乗車券を検討し観光需要を取込む。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・交流人口への利用促進策については、アフターコロナにおける利用状況等の検証を行った上で、効果的な利用促進策の検討を進めていくことが望ましい。	
第三者委員会における各委員からの意見								
令和5年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○コロナ後の動向や人手不足など様々な側面で今が変わり目である。 ○地域とコミュニケーションをとりながら、データに基づき地域全体の将来像を打ち出し具体的な目標を立てて、成果や課題など数字で示すことが重要。								